

本会は、愛知万博問題を契機に注目された「海上の森」を里やまとして守り、楽しむために汗を流す市民が、行政との協働で立ち上げたものです。



海上の森に春を告げるシデコブシ。3月に寺山川沿いの谷あいをもくする伐採が、県環境部と専門家の協働で行われました。違和感なく仕上がった景観をシデコブシも喜んでいるようです。

海上の森だより第11号目次

海上の森の会定期総会	P.2,3
海上歳時記	P.4,
海上いま、むかし	P.5
ぎゃ～ろめ通信	P.6
未来予想図(番外編)	P.7
自主事業と受託事業の計画	P.8,9
世間の目(新聞記事より)	P.10
運営委員会議事録他	P.11
4月～7月の行事予定	P.12

第4回定期総会にて、会長交代

3月23日に瀬戸蔵において海上の森の会定期総会が開催されました。(詳細については2・3ページに記事)

世間で騒ぐサクラの開花はソメイヨシノです。海上の森ではヤマザクラやカスミザクラの花見を楽しみませんか。コナラの白緑色の新葉とサクラたちの薄桃色の彩りは、雑木林の春爛漫。草や花や虫、鳥たちが寿ぎ、山笑う最高の季節です。

海上の森の会 会長 山川 一年
事務所 〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1
「あいち海上の森センター」内
「海上の森の会」事務局
TEL&FAX 0561-21-9298 (留守電対応)
e-mail : kaisho_satoyama@yahoo.co.jp
ホームページ <http://kaishonomori.com/>

海上の森の会第4回定期総会が開催されました

本年の定期総会は参加者が多くなることに期待して春分の日から日曜日に変更し、3月23日に瀬戸市瀬戸蔵4階多目的ホールで行いました。

蓋を開けてみれば参加者が44名でしたので、日曜日の効果があったとはいえません。

総会では、まず木村光伸会長が「丸三年が経ち、これからは愛知万博の継承にとどまらず、目標を持った実践的な努力が必要になる」と挨拶し、次いで来賓のあいち海上の森センター、マリ・クリスティーヌ名誉センター長からは「これまでの御尽力・御協力に感謝し、会の発展をお祈りします」と、浦井巧センター長からは「これまで以上にセンターとしての事業を充実させていきたい。そのためには会の協力なくしてはやっていけない。今後とも御協力を御願います」と協働に向けての挨拶がありました。

総会では、1号議案として平成19年度の活動報告と決算報告・監査報告が、2号議案として平成20年度の活動計画(案)と予算(案)が、3号議案として会規約の改正(案)が、4号議案として役員を選出(案)が出された。以上の案件は大筋で認められたが、決算では会の事業内容を会員がよりよく知るためにも事業費の内訳をもう少し詳しくして欲しいという意見が出され、また本会以外のボランティア保険に加入している人の二重加入によるロスを減らす手だてを講じてはどうかとの意見も寄せられました。これらの意見を早速検討し、会規約の改正点(家族会員)とともに「事務局からのお願いとお知らせ」「活動費内訳」として次ページに掲載しましたので、ぜひお読み下さい。

会長は草創期以来この会を牽引していただいた木村会長から、海上のみならず瀬戸・東海の歴史



を知り尽くした山川一年新会長に引き継がれ、副会長に鈴木五男・福田澄夫、会計に藤野昌之、幹事に伊藤良吉・木村光伸・鈴木俊憲・出口なほ子・早川義敬・平野幸治・冬木裕・三輪邦夫・山田耕二・山本征弘、監事に似内信彦・山田治義の各氏が任命されました。

今年度の総会では審議事項が多く、総会終了後に意見交換をする時間がほとんどなくなりました。参加者が少ないという総会のあり方も再考する必要があります。4年目を迎えた会の新たな展開には、会員のご意見と行事への参加が何にも増す活力剤となります。この会報はそうした皆様と会との繋ぎ役になりますので、ご投稿をお待ちしております。

(事務局 伊藤)



挨拶にかえて

山川 一年

あの愛知万博が華やかに開幕したのは丁度3年前でした。その会場予定地となって一躍脚光

を浴びたのが海上の森でした。様々な人々が海上に関心を寄せ、発言し、行動する中から「海上の森の会」は誕生しました。あの熱気の中の半年間は閉幕しましたが、その中で追求された「自然との共生」・「市民参加」など様々な理念や課題は今後に残されました。

この4年間、海上の森の自然や文化を守り・育てるための活動の先頭に立って頂いた木村光伸前会長や役員の方々に、その後を引き受けるにはあまりにも荷が重過ぎますが、幸いにも各グループリーダーや事務局のみなさんの情熱は高く、共に会の発展に尽くす所存です。特に地元地権者の方々、あいち海上の森センターとはお互いの自主性を尊重しつつ、協働関係を強めていきたいと思っております。

また、10グループの独自活動を強化するためにも会員の加入促進を図る必要があります。今年もまた「交流と学びのつどい」事業の強化、とりわけ「ため池づくり」をぜひ行いたいと思っています。よろしく申し上げます。

平成20年度の定期総会で平成19年度の決算が承認されましたが、支出の活動費内訳が知りたいとのご意見がありましたのでグループごとの活動費をまとめました(総会資料の決算書参照)。

グループ別活動費	金額	おもな項目とその金額	19年度のみ支出
自然環境調査グループ	50,567	カラーインク	39,793
森づくりグループ	99,300	草刈機2台分	99,300
里づくりグループ	929,782	謝礼	795,300
		種・苗・肥料等	96,522
		ソバ曳き臼	37,960
環境保全グループ	564	ごみ袋	564
学びと交流のつどい	177,042	餅つき道具(せいろ、石臼、かまど)	139,662
		演奏料(3名)	30,000
その他会全体として	683,261	イノシシ用ワイヤーメッシュ他	195,912
		里山のものづくり謝礼、賃借料、	230,000
		日本野鳥のつどい謝礼	45,000
		幟	52,500
合 計	1,940,516		

会計 藤野昌之

事務局からのお願いとお知らせ

- 平成19年度の会費を235名の皆様から295,500円納入していただき、有難うございました。昨年度で会員数22名増、会費は23,300円増となっております。今年度もよろしくお願いたします。
- 20年度から同居のご家族で2名以上入会しておられる方は「家族会員」となりました。会費は同封の振込取扱票の通信欄に「家族会員」とし、入会されるご家族全員のお名前をご記入下さい。会費は一家族一口2,000円以上です。
- 会費を納入された方は社会福祉協議会が窓口のボランティア保険に加入する手続きを取りますが、すでに他の団体で社会福祉協議会のボランティア保険に加入しておられましたら、その旨を事務局までFAXかメールでお申し出下さい。なお、ボランティア保険の加入は小学生以上となり、小学生未満のお子様は保険に加入できませんので、ご了承下さい。
- 平成20年度プログラムスタッフ登録シートを同封しておりますので、継続される方も新規に登録をお願いいたします。登録シートは事務局あてにFAXか郵送をお願いいたします。

(事務局 福田)

この季節の見どころをご紹介

毎週木曜日に生物季節調査を行っています。昨年度は草花 283 種、花の咲いた木 101 種、昆虫 200 種、野鳥 53 種が確認されました。

今年は春が遅く木に花は少なめでしたがアセビやヤブツバキが咲き、大正池ではクロモジが咲いていました。草花は森の中でスズカカンアオイ、ショウジョウバカマが、田んぼや路傍ではナズナ、ホトケノザ、オオイヌノフグリ、トウカイタンポポ、オランダミミナグサ、タネツケバナなどが見られた。野鳥はウグイス、シジュウカラ、ヤマガラのさえずりが聞こえ、チョウはテングチョウ、キチョウが見

え、春の息吹を感じるすることができます。

これから花が増え、昆虫も姿を現します。4月から6月ごろが海上の森の一番良い季節でミヤマガマズミ、ツクバネウツギ、カマツカ、エゴノキ、イボタノキ、ヤマボウシ、コアジサイなどの木の花やニオイタチツボスミレ、ミツバツチグリ、カキドウシ、カラスノエンドウ、シライトソウなどの草花が見られます。ツマキチョウ、ジャコウアゲハ、ニシカワトンボ、オグマサナエ、ショウカイボンなどの虫、オオルリ、サンコウチョウ、キビタキ、サンショウクイなどさえずりが聞こえます。

心とむ花や虫たちとのひと時を過ごしに海上に散策に来てみませんか。

(山本征弘)



ミヤマガマズミ



ツクバネウツギ



エゴノキ



コアジサイ



ニシカワトンボ



ショウカイボン

多度神社



多度神社幟立て

明治・大正時代の頃の海上には20余軒の民家がありました。集落の入り口に水車小屋が在り、海上川を渡って急な坂道を登ると氏神(多度権現社)が鎮座します。古い石垣の基壇に社が建ち、山ノ神が合祀されています。祭神一目連命は伊勢の多度神社(現桑名市)から分祀されたもので五穀豊穰を司る神です。

しかし、尾張地方ではむしろ早魃のときの雨乞いの神として知られています。灌漑用水路が不十分だった時代はすぐに干害を受けました。各村々にはそれぞれの雨乞いの民俗行事がありましたが、最後は伊勢の多度神社に黒幣を受けに行くのです。その使者は途中で休んではいけないとされ、腰を下ろしたら雨はそこに降ってしまうとされたのです。瀬戸市内では、この海上と沓掛(定光寺町)という共に山里にお多度さんが祭られるという共通性があります。

村人と共に生きた氏神ですから、何度も建替え・修復がありました。山口八幡社は明治時代に海上多度社を合祀したことがあって、この多度社の棟札16枚が保管されています。その内10枚が江戸時代のものです。最も古い棟札は貞享五年(1688)のものです。

(史料)

「奉建立多度権現社 貞享五年四月十五日 愛智郡海上村/願主 鈴木与右衛門 同傳重良/大工 大津八良右衛門/禰宜 丹羽喜太夫」

最もたくさんの人名(戸数)が載るのが明和三年(1766)の棟札です。

(史料)

「奉修復惣氏子安全所敬白 明和三年戌九月廿八日 愛知郡海上村/願主 鈴木傳助 同政右衛門 同文左衛門 同孫左衛門 同林左衛門 同仲左衛門 同三左衛門 同 左衛門(表)」
「繁昌所 願主 鈴木松左衛門 同彦左衛門 同丹左衛門 同長右衛門 同長蔵 同新平 同新八 同新 (裏)」

江戸時代には海上は独立した山口の枝村として庄屋も置かれていたことが分かります。

多度神社の例大祭は5月5日の節句の日ですが秋祭りも盛大に行われ、かつては伊勢の本社同様に上げ馬神事や棒の手・火縄銃を奉納する警固祭りも行われていました。海上が一年でもっとも華やか日でした。

(参考文献『海上の自然と暮らし』 山川一年)



(写真は海上の多度神社と5月5日の多度祭り)

(山川 一年)



海上の森運営協議会とは

海上の森における保全と活用の取組みの推進及びあいち海上の森センターの適正な運営を図るため、愛知県が設けた学識経験者、団体代表者、地権者、行政者の協議会で、誰でも傍聴することができます。

「海上の森の会」からは、会長が委員として参加している。



海上の森運営協議会を傍聴したよ

3月18日(火)午前10時から「平成19年度第2回海上の森運営協議会」が開かれた。

今回の協議内容は、

1. 平成19年度の取組について
2. 平成20年度事業計画(案)について

が主なものである。

いろいろあった委員からの発言の中で、耳寄りなものをピックアップしてみたら...

1. 平成19年度の取組について

S1委員：海上の森センター入館者数1日平均88人の実績は少なすぎる。海上地区に来る人数も把握しなければいけない。

M委員：森に来る人は何を目的にきているかを調べべきだ。

S2委員：小中学校の学習をもっと多くした方が良かったが、大型バスが入りにくい等交通手段が不便。

2. 平成20年度事業計画(案)について

M委員：具体的な目標、目的が何かわからないので、意見が言えない。

U委員：自然林の長期モニタリングがあるが、林の中にある小さな流れはモニタリングしないのか。

T委員：広葉樹林の整備方針に「自然の推移に委ねる

ことを基本」とあるが、自然の推移に委ねるとシイ・カシ林になっていく。手を入れるべきである。

S1委員：私も手を入れて、樹木を切ったほうが良いと思う。極端だが丸坊主にするくらいの気持ちで切ってもよいと思う。

K委員：センター職員は森の中を歩く事を仕事にしてほしい。

S1委員：職員が平日に歩いてその情報を土日に発信するのが良い。力のある施設でそうやっているところもある。

T委員：人工林の間伐を計画のペースで行うと全部で30年以上かかる。これでは次の間伐の期間を超えてしまう。計画面積をもっと大きくしなければいけない。

S1委員：物見山の眺望が悪い。本来の物見山にするために頂上付近を全部切れればよい。

U委員：生物多様性条約の国際会議が名古屋で予定されているが、生物多様性も計画には考えられているか。

センター：生物多様性条約締約国会議については、別の部署があってそこが取り組んでおります。



感想

以上の質問や意見からは、外部の人とセンター側の認識のズレが出てきているのがよくわかる。

海上の森センターの仕事や計画には自然環境系の内容が少なすぎるのが原因ではないだろうか。

2010年に愛知名古屋で開催される生物多様性条約第10回締約国会議(生物多様性COP10)については、センターは関係ないような回答をされていた。

誘致委員会のパンフレットには、藤前干潟とともに海上の森も載っている。海上砂防池、オオタカ、シデコブシの写真とともに、センターの写真も...

(N.S)

海上の森の会で自主的に行う活動

森の会で会員を中心に広報して行っている各グループの活動を紹介します。直近の活動予定詳細は最終頁に掲載



自然環境調査グループ

毎週木曜日駐車場に午前9時半に集合し、会員仲間で生物季節調査(花・虫・鳥)を実施。季節ごとの報告会や参加自由の観察会も検討中。

また本年度から環境省の百年計画でもあるモニタリングサイト 1000 にも協力して自然の推移を観察していきます。(リーダー山本)

森づくりグループ



秋から活動開始。冬場の間伐期に月3回程、活動フィールドのヒノキやスギの人工林の手入れを行います。間伐作業のノウハウやチェーンソーの使い方も学べます。よりよい森を目指しいい汗流ましょ！(リーダー平野)



野あそびグループ

海上の森や里、川を使って、大人から小さな子どもまで遊びながら里山を満喫しています。今年度の活動は全8回予定。会員とその家族のお楽しみ会的存在に！(リーダー早川)

案内巡視グループ



毎月重点日を決めて、貴重種の盗掘や不法投棄防止を見回ると共に訪問者の案内・問い合わせに対応します。(リーダー鈴木俊)



生活史調査グループ

収集した生活用具、聞き書き資料の整理などを主に行っています。(リーダー伊藤)

海上の森だより編集員



グループ活動ではありませんが、会報(年4回発行)を編集・発行します。絵や文章の得意な方印刷補助のできる方手伝って欲しいな。(担当: 曾我部・早川)



民家保全グループ

里山サテライトの維持管理、補修整備、今年は物置や小屋の建築も計画しています。(リーダー山田耕)

ツアーグループ



次ページの受託事業などでツアー案内や引率ができるようなスタッフ養成勉強会を開催したいと考えています。(リーダー山本)



里づくりグループ

次ページの受託事業活動日以外の除草作業や水路整備などを自主的に行っています。(リーダー鈴木五)

情報グループ



森の会ホームページの更新だけでなく活動データベース作りによって会の情報ステーションを目指します。(リーダー冬木)



里の暮らしグループ (New!)

今年度から新グループとして活動開始します。年中行事やまつりの再現、地産地消の昔ながらの行事食の実践に努め、ゆったりとした田舎暮らしを考えます。(リーダー出口)

センターとの協働活動

学びと交流の集い



海上の森の自然環境(化学、地理、植物、生態、歴史など)の講座を行い、環境保全活動やため池再現プロジェクトも始動しています。

イノシシ被害から里の耕地を守るワイヤーネット柵設置も引続き計画しております。

海上の森の会で受託した事業活動

事業を委託された活動で、参加者は一般募集に応募した方で
当会会員はスタッフとして参加者の活動を補助します

● 既に平成20年度に受託が決まっている事業

➤ 里山の耕地管理：あいち海上の森センター主催「里の教室」補助

◇ 「里づくりグループ」にスタッフ登録した方に協力いただきます。年間予定は下記の通り



開催日	内容	開催日	内容
5月25日(日)	説明会	8月24日(日)	野菜の収穫、田畑の草取り
6月1日(日)	田植え、サツマイモ植付け	9月21日(日)	サツマイモ、野菜の収穫田畑の草取り
6月15日(日)	サトイモ植付け、水田草取り	10月11日(土)	稲刈り、ハサ掛け、ソバの収穫
7月6日(日)	野菜の種まき、田畑の草取り	11月2日(日)	サトイモ収穫、ソバの脱穀、意見交換
7月27日(日)	ソバの種まき、田畑の草取り	11月15日(土)	収穫感謝祭

お金を出せばなんでも手に入る時代に作物を育てる苦勞をすることで自分達の心も育てている気がします。思いやり、助け合いの心を持ち心豊かな生活ができる子供達になれるよう手伝って下さい

➤ 海上の森の林道案内：愛知海上の森センター主催「海上の森ツアー」案内協力

◇ 「ツアーグループ」にスタッフ登録した方を中心に案内協力をしていただきます



開催日	内容
6月7日(土)	海上の森の自然や歴史を知るツアー 全て9:00 入口駐車場集合 13:30 里山サテライト解散
9月13日(土)	
11月8日(土)	
3月14日(土)	

ガイドやスタッフとしてご協力いただける方は山本征弘まで連絡下さい

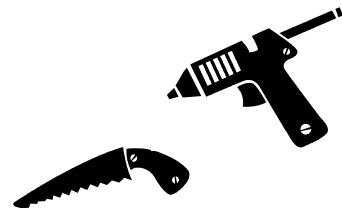
Kaisyo55@ai.wakwak.com

TEL：0561-54-9067

➤ ものづくり事業：「里山のものづくり」講師協力

◇ 講師として参加していただける方に協力いただきます

開催日	内容
10月5日(日)	森の素材を使った工作
12月6日(土)	間伐材を使った工作
1月24日(土)	炭焼き(2日1セット)
1月25日(日)	



講師やスタッフとしてご協力いただける方は事務局まで連絡下さい

● 他に受託が見込まれる事業：依頼のあった都度で協力できる方を募ります。

➤ 海上の森散策(ツアー)	企業や各種団体などから問い合わせの最も多い事業です。
➤ 人工林の間伐体験	企業研修などでノコギリやチェーンソーを使った間伐体験に協力します
➤ 森の工作教室	子ども会等の団体が森の恵みで工作する時の指導を行います
➤ その他	海上の森の会の理念に沿った依頼を受付けます



最近の新聞記事より

最近の新聞で海上の森に関連する記事の内、会員の皆さんにもご一考いただきたいものをピックアップしてみました。

08. 3.29 毎日新聞夕刊

憂染岬

いつもの場所

春、なぜか足が向かう場所になった。愛知県瀬戸市の「海上の森」である。愛知万博の当初計画では主会場だったが、環境保護意識の高まりで守られた。07年、愛知万博開催が決まった時、私は愛知県庁を担当していた。自然保護を訴える万博反対運動は大きな広がりを見せ、BIE(博覧会国際事務局)メンバーが森を視察した際には、道に寝ころんだり、推進派の集会を大声で妨害するなど、激しかった。

県幹部は「かわいらしいが、しょせん人の手が入った森」と冷ややかだった。反対派が上高地になぞらえ、「大正池」と呼んで保護運動の象徴にしていた池も「単なる砂防ダム」と切り捨てた。

私自身も、そうまでして守らなければならぬ森なのか、真剣には思わなかった。激しさを増す反対運動への疑問もあったと思うが、行政関係者の声に流されていなかっただかと、今思う。森は、春のやさしい光に包まれ、命の芽吹きを感じる。この森に出会って10年余。たえず、存在感は年々深みを増している。【松本正】

関わったキッカケはともかく惹きつける森なのは本当ですね。

3月29日 毎日新聞夕刊より

海上の森の会にかかる期待は、同時にプレッシャー。注目されている間が花です。

3月22日 毎日新聞朝刊より

生物多様性

生物多様性条約第十回締約国会議(2010年、COP10)の国内候補地に、愛知県・名古屋市の決定は、自然保護にとどまらず多くの人の命の尊厳、豊かさに気づいてもらう機会にしたい。

条約の目的は、生物の多様性の保全、生物多様性の構成要素の持続可能な利用、そして遺伝資源の利用から生ずる利益の公正で衡平な配分とされている。

いのちの尊厳と学ぶ場に

最近では、北海道やロシア極東域にすむ、幻の魚。イトワヤ、地球温暖化によるホッキョクマの激減などが話題になる。関連環境計画(UNEP)は、地球環境白書案で、環境悪化による生物の絶滅は、自然状態の百倍の速さで進んでいると、強く警鐘を鳴らしている。

このように深刻な絶滅の進行などに歯止めをかけるよう、百八十八の締約国と欧州連合(EU)が話し合う、二年に一度の会議である。

生態系の維持が理念継承の象徴に

元万博担当記者として

私は万博担当記者だった。今、主会場跡地は公園整備が進み、全長約2.6kmのルートも一部復活する。わずかに約185分だけで寂しい思いもあるが、空中に建築物がなくなったことで開放感がある。週末、子供たちでにぎわう園内の児童館総合センターでは、環境も楽しく学べ、こうした施設とソフトを充実させれば利用者は増えると思う。一方、環境万博の「聖地。とも評された「海上の森」では鳥のさえずり、水の流れる音も聞こえた。が、肝心の森林保全は不十分。自然ゆえ、過度な整備は必要ないが、生態系を維持するための手入れをきちんとしてほしい。この森の維持が、万博の理念を継承していくことの象徴になると思う。【福岡徹也】

1月17日 中日新聞朝刊より

第44回運営会議の席上、海上の森センターから経緯について詳細報告がありました。森の会の活動でこのような事故が起こらないよう厳に要請されました。

事件事故
伐採作業中に男性事故死
29日午前11時25分ごろ、瀬戸市海上町の県有林「海上の森」で、伐採作業中だった豊田市豊田森林組合小原藤岡支所職員、(68)さんが伐採中に木の下の敷きになって死亡した。
瀬戸市の調べでは、チェーンソーを使って長さ約21m、直径約35cmの杉の木を切った際、自分の方に倒れてきたらしい。ほぼ即死状態だった。
さんは、朝から同僚と4人で伐採作業をしていたが、事故当時は1人だった。

3月1日 中日新聞朝刊より

第41回～第45回運営会議で話し合われた主なこと

運営会議は傍聴できます。
ご希望の方は事前に事務局までご連絡をお願いします。

第41回運営会議 2007.12.14

12月16日開催の海上の森シンポジウム役割分担について協議/20年度定期総会のスケジュールについて協議/20年度役員改選・事務局の交代について協議/あいち海上の森センターと海上の森の会の意見交換会開催日程について検討/モニタリングサイト1000の調査担当者を決定/新調した職の使用方法を検討。

第42回運営会議 2008.1.19

20年度定期総会の次第、活動報告について協議/役員改選に関わる会長、副会長、幹事3名及び事務局2名の退任申し出があり新役員案について協議/海上の森センターからINAX、東邦ガス、中部電力、トヨタ車体等による森林整備の企業連携事業について説明/第2回～第4回までの「里山ものづくり」に係わる手当支給について承認/会報のホームページ掲載の中止、会員へのメール配信の変更を決定/親子会員新設について検討/第2回ため池勉強会の報告/自然環境調査グループから樹名板の取り付け、シデコブシ被圧調査について報告。

第43回運営会議 2008.2.16

20年度定期総会次第、司会者、報告者等の担当者を決定/役員改選に伴う山川新会長、事務局福田幹事(新任)、藤野会計(重任)、各グループリーダーの交代について検討/海上の森センターから20年度事業計画(案)について説明/海上の森センターと海上の森の会の意見交換会のまとめについて報告/家族会員新設の検討/19年度活動報告・20年度活動計画の確認

第44回運営会議 2008.3.7

木村会長から会長辞任の経緯について説明/新会長候補の山川幹事から会長就任の条件について説明/20年度定期総会の議案について協議/複数の会員から要請された海上の森センター委託事業の会計報告及び活動費内訳の公表について会計が決算報告で説明実施/家族会員新設に係わる規約改正(案)について協議/各グループリーダーの交代について審議・決定

第45回運営会議 2008.3.15

20年度定期総会次第・スケジュール並びに司会・来賓・報告者について確認/19年度活動報告・20年度活動計画(案)について確認/家族会員新設に係わる規約改正(案)の条文について協議・決定/役員改選

(案)の検討(山川会長、鈴木五男副会長、福田副会長、藤野会計)/里のくらしグループ新設の検討/自然環境調査グループ・ツアーグループ・里作りグループ・案内・巡視グループ・民家保全グループの各リーダー交代の承認/登録シート記載内容の確認/19年度つどい会計報告の承認/海上の森センター20年度委託事業として里の耕地管理委託、海上の森ツアー、里山のものづくりについて依頼/中古軽四トラックの譲渡依頼/あいち自然環境団体・施設連絡協議会定期総会4月19日開催の案内

(似内)

海上の森センターとの意見交換会 2008.1.26

会とセンターの役割・関係づくり、これからの事業や取り組み、協働のあり方に関してマリ・クリスティエー名誉館長も出席して意見交換会を持った。以下センターとりまとめより抜粋

森づくりや里山再生の具体的方針がないまま活動計画にも参画している訳でもなく当会がセンターの下働きのようにになっている 全体的ビジョンは海上の森保全活用計画に示しているが個々の活動に関しての計画は意見交換や相談の場を増やしていくので意見ほしい

体験学習などの事業を多くこなしているだけの観がある。当会会員が参加し易くできないか 体験学習事業はセンターの柱であるがマンネリ感はあるので今後反省会など行い改善見直しも行っていく。森の会会員なら自由にどの体験学習にも参加できるわけではないが会の受託範囲内で会の裁量、スタッフ登録してもらうのが一番よい

自然環境調査など会活動の目的が共有されておらず伐採した木材や休耕田の活用方法などが課題。森の案内地図作成望む 取組の目的を明確にして互いに共有していく努力を。調査の結果は単年度で結果が現れるものばかりでなく積み重ねも必要。伐倒木に関しては公的利用に関しては基本協定あり、地図は森の会で作成販売することも検討しては?

センターに夏場の飲食場或いは屋外に木陰が必要。学芸員的な人材の配置も 対応できる事から取組んでいくが学芸員は難しい、職員の資質向上に努める

また、新たな事業取組みとして里の教室参加経験者による指導者補助的な役割や自主的な耕地管理、そのために必要な用排水整備を検討していくことと、海上の森の会に若い世代や子供を引き込むためにも家族会員制度を推奨された

(早川)

4月～6月の行事予定

4月	2(水) 本当の野点をしてみよう! 【野あそびグループ】 9:30～14:30(午前からの参加可) 集合:海上入口駐車場 持物:昼食、飲料水 対象:会員、家族会員 野草茶を楽しんだ後は雑木林でこころゆくまで遊びましょう (友達誘って当日入会可)
	6(日) 雛節供とオコシモン作り 【里のくらしグループ】 9:00～ 集合:里山サテライト 持物:昼食、飲料水、食器、箸 対象:会員、家族会員、その他 雛節供行事の再現 参加(食材)費:会員は300円/人、500円/家族、非会員は500円/人
	19(土) 海上の森の美化活動(ゴミ拾い) 【会行事:環境保全活動】 9:00～12:00 集合:海上入口駐車場 持物:飲料水、手袋 対象:会員、家族会員、その他 屋戸橋から海上集落までの道路沿いのゴミ拾い、雨天時中止 服装:長袖、長ズボン、手袋
5月	5(祝) 多度神社祭礼幟立てと五月節供菓子作り 【里のくらしグループ】 9:00～ 集合:里山サテライト 持物:飲料水、食器、箸 対象:会員、家族会員、非会員 柏餅、オカズ作り、祭礼参列など 参加(食材)費:会員は300円/人、500円/家族、非会員は500円/人
	8(日) 里山の川でガサゴソ宝探し 【野あそびグループ】 9:30～14:30(午前からの参加可) 集合:海上入口駐車場 持物:昼食、飲料水、着替、濡れてもいい靴 昔、水晶が取れたことがあったとかなかったとか...?(あればタモ、バケツ) 対象:会員、家族会員
6月	14(土) 第4回溜池勉強会 【会行事:学びと交流の集い】 10:00～15:00 集合:海上入口駐車場 持物:飲料水、昼食、長靴 対象:会員、非会員 講師:森山昭雄氏 現地探索及び地質条件の検討など 中学生以上
	下旬 ハイケボタル観察会 【里のくらしグループ】 (未定) 17:00～ 集合:里山サテライト 持物:飲料水、夕食 対象:会員、家族会員、非会員 ホタルの成長状況により日程確定 参加希望者は担当出口にお問合せ下さい。後日回答または、HPにて広報します

定期開催している活動

毎週木曜 生物季節調査(花・虫・鳥) 動植物の四季の変化を継続調査しています【自然環境調査グループ】 9:30～ 集合:海上入口駐車場 持物:昼食、飲料水 対象:会員

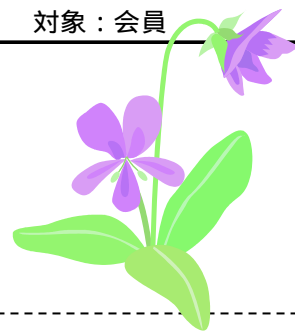
あいち海上の森センター募集行事の受託事業

グループスタッフ登録受付中!

【里の教室】5/5(日) 6/1(日)・15(日) 7/6(日)・27(日) 詳細はP.9参照

【海上の森ツアー】 6/7(土)海上入口駐車場集合9:00～13:30 予定

一般参加申込みは海上の森センター(0561-86-0606)まで



問い合わせ先一覧

問合せ活動	担当	電話&FAX
【学びと交流の集い】	伊藤	0561-84-7044
【野あそびグループ】	早川	0561-21-9863
【里のくらしグループ】	出口	0561-83-3470
【自然環境調査グループ】	山本	0561-54-9067
【ツアーグループ】		
【里の教室】	海上の	0561-86-0606
【海上の森ツアー】	森センター	0561-85-1841

編集後記

新会長、新グループ、新制度(家族会員制)と、新物尽しの新年度のスタートです。森の中でも新芽が今や遅しと出番を待っています。毎年同じ繰返しのように見えても枝葉を伸ばし上へ横へと成長し続ける木々。森の会は少しづつ前へ前へと成長していきます。今年度もよろしく! (早川)

随時入会受付中!

年会費(4月～翌年3月) 1口1,000円 1口以上
同居2名以上で家族会員 1口2,000円 1口以上
賛助会員(個人・団体)大歓迎!

口座記号番号 00820-6-185628
加入者名 「海上の森の会」

ご意見ご感想お待ちしております!

森の会への連絡はメール FAX 郵便でどしどしお送り下さい

Kaisho_satoyama@yahoo.co.jp 0561-21-9298